

出前歯みがき教室

埼玉新聞掲載【2026年1月21日（水曜日）】



歯みがきレンジャー参上！

富士見中 中学生が小学生に指導

熊谷

熊谷市立富士見中学校の

保健委員会3年生5人が同市立熊谷東小学校4年生60人を対象に、出前歯みがき教室を実施した。

同校では小中連携の取り組みの一つとして、毎年3年生の保健委員が学区内にある四つの小学校（熊谷東小、熊谷西小、桜木小、成田星宮小）にそれぞれ出向いている。



中学生たちは「歯みがきレンジャー」に扮（ふん）して登場。手作りした大きな歯の模型と巨大歯ブラシで正しい歯の磨き方を伝授。スライドを使いながら、健康な歯を維持するための手法を分かりやすく解説した。

同中学校は、生徒らのむし歯予防への自発的な活動が高く評価され、県学校歯科保健コンクール大規模中学校の部

児童に歯磨きを指導する富士見中学校保健委員会の生徒ら
＝熊谷市立熊谷東小体育館

で、最優秀、優秀校など毎年上位入賞を果たしている。

保健委員会の鶴岡光さん（14）は、「クイズを通し、小学生が分かりやすく歯の健康を学べるように工夫しました」とにつこり。ペンギンなど鳥の仲間に歯がない理由や、奥歯が1本抜けるとかむ力は半減すること、80歳で20本の歯を目指す「8020運動」は子どもの頃からスタートしていることなどをクイズに盛り込んだ。

中学生たちは、40歳以上の10人中8人が歯周病を患っていることから普段の生活習慣が大切だと説いた。富田律さん（10）は、「クイズが面白かった。知らなかったことがたくさんありました」と話した。鶴岡さんと共に訪れた、樋沢正剛さん（15）、後藤大翔さん（同）、多田彩人さん（同）、野島莉歩さん（14）の全員が、東小の卒業生。懐かしい校舎が、改修工事できれいに生まれ変わったことにほほ笑みを浮かべていた。

（タウン記者・栗原和江）